

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。
謹白

記

■ 受託開始日 2025年7月8日(火) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード (旧項目コード)	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
00Y14 1 (0Y14 4)	POLE遺伝子解析 (子宮体癌)	未染標本 スライド 5枚 厚さ5 μ m	Z10 (t)	室温	10~14		ダイレク トシーケ ンス法		重 下記参照 £

●備考

- 病理材料でPOLE遺伝子における11のバリエーション(P286R、M295R、S297F、F367S、D368Y、V411L、L424I、P436R、M444K、A456P、S459F)を解析しています。病理材料以外のご依頼できません。
- 検査に必要な腫瘍細胞の割合は40%以上です。40%に満たない検体については判定不能・偽陰性の可能性があります。
- 未染標本スライド提出に際しての留意事項は総合検査案内の「容器の取り扱い方法」54ページをご参照ください。
- 他項目との重複依頼は避けてください。



● POLE遺伝子解析（子宮体癌）

子宮体癌におけるWHO分類に基づく分子サブタイプ分類に有用な検査です。

子宮体癌における分子サブタイプ分類は、TCGAから報告された網羅的遺伝子解析に基づく子宮体癌の新たな予後因子をもとにした分類です。

世界的な病理診断の基本となるWHO分類の第5版で診断マーカーと診断方法が掲載され、FIGO2023では組織型を問わず子宮体癌患者全例で診断することが推奨されています。

POLE遺伝子変異検査は、子宮体癌における4型の分子サブタイプ（POLEmut型、dMMR型、NSMP型、p53mut型）を分類するために最初に必要となる検査です。

本検査は、POLE遺伝子の11の病的バリエーションすべてを網羅した、子宮体癌における分子サブタイプ分類を診断するために有用な検査です。

▼検査要項

検査項目名	POLE遺伝子解析（子宮体癌）
項目コード (旧項目コード)	親：00Y14 1 (OY14 4) POLE遺伝子解析（子宮体癌） 子1：(OY15 1) 判定 子2：(OY16 9) P286R 子3：(OY17 6) M295R 子4：(OY18 3) S297F 子5：(OY19 1) F367S 子6：(OY20 1) D368Y 子7：(OY21 8) V411L 子8：(OY22 5) L424I 子9：(OY23 2) P436R 子10：(OY24 0) M444K 子11：(OY25 7) A456P 子12：(OY26 4) S459F
検体量	未染標本スライド 5枚 厚さ5μm
容器	Z10 (t) オブジェクトケース
保存方法	室温保存してください
所要日数	10～14日
検査方法	ダイレクトシーケンス法
基準値（単位）	
報告範囲（単位）	子1：陽性、陰性、判定不能 子2～12：変異陽性、変異陰性、解析不能
検査実施料	
判断料	
備考	重 表面参照

£

●参考文献

Laczmanska I, et al : Pathol Res Pract 242 : 154315, 2023. (検査方法参考文献)

Berek JS, et al : Int J Gynaecol Obstet 162 (2) : 383～394, 2023. (臨床的意義参考文献)